

平成 26 年度米子市文化ホール運営委員会議事録（概要）

開会

岡文化課長挨拶

議案 1 平成 26 年度事業中間報告について資料内容の説明・報告

田中会長

ただいま各 3 施設から今年度事業の中間報告について報告がありましたが、ご意見ご質問はないでしょうか。

田中会長

各施設で予定と結果のところ収入支出の額が入ってないところが沢山ありますが、これはあえて示されていないということでしょうか。文化ホールも公会堂も予定、結果のところ、収入額、支出額、数字が出てないところが沢山あります。

政木副館長

これから実施するものにつきましては、数字は出ておりません、既に終わった事業についても決算、集計ができていないものは記入してないところがあります。バー（－）がついているところがありますが、これはそれぞれ収入支出は予算を執行しておりません。

藤山副館長

にぎわい創出事業で数字が全く出ていませんが、これは一つの事業として予算を出している関係で全て終わった段階で確定します。個別のものは収入支出わかっていますが、トータルでだすという考えで資料を作成しております。

田中会長

例えば参加人数等は数字が入ってないと逆に評価もしにくいと思います。金額を気にしているのではなくて、評価をする上で、参加人数、予定していた金額よりどれくらい増えたか減ったかということが必要ではないかと思い質問しました。

田中会長

他にご質問がないようであれば次に進みたいと思いますがいかがでしょうか。無いようですので、続きまして 2 番目の議題、過去の事業実施状況について各施設説明をお願いします。

議案 2 過去の事業実施状況について資料内容の説明・報告

岩崎委員

文化ホールの 25 年度の市民音楽祭の収支の差が大きく、予算も結果も差額も結構大きいようですが、この点について説明をお願いします。

政木副館長

13 ページの上にあります、米子市音楽祭の予定と結果ですが、予定では人数が 3 千人で収入が 120 万円、支出も 120 万円、差し引き 0 でスタートいたしましたが、結果として、2,678 人が参加、収入が 2,048,500 円、支出が 3,563,619 円で約 150 万円の赤字になっています。25 年度は音楽祭のファイナルコンサートとして 12 ページの一番上にあります、メイン事業並びに市音楽祭 55 年記念事業として、最終日にファイナルコンサートを行いました。これは米子市音楽祭に含むと書いてありますように、予算を合わせたものを 13 ページの米子市音楽祭の欄に載せております。

菱谷委員

このファイナルコンサートの入場者数は 13 ページの数字に含まれていますか。

政木副館長

いえ、入場者数は別々で計上しています。収入と支出の予算につきましては 13 ページに含んでいます。

菱谷委員

金額だけは合算で、入場者数は別々ということですか。

政木副館長

米子市音楽祭のファイナルコンサートの部分と従来のジャンル別のコンサートの予算、支出等を分けにくい部分があり、合わせて決算として報告しています。

菱谷委員

参加者は 3 2 0 0 人ぐらいになりますね。

政木副館長

そうですね。2,678 人と 584 人を合わせた数字になります。

田中会長

文化ホール、さなめホールの入場者数等の説明がありましたが、25年度は公会堂が閉館していて、どちらかに振り分けとかあると思っていました。しかしさなめホールは一見25年度に利用者数が増えているように見えますが、前年度比では確かに増えていますが、もっと前の年になりますと、さらに多い時あり、公会堂の利用者が振り替えていないというような状況になるのではないのでしょうか。公会堂が閉館中も文化ホールもさなめホールも、そんなに利用者が増えていない数字に見えますが。

政木副館長

文化ホールは火曜日を閉館していましたが、皆さん平日より土日を希望され、何件かは火曜日の利用がありましたが、メインホールは残念ながら影響が無かったと思います。ただ研修室とか前庭の利用は増えています。

藤原館長

大ホールだけの利用の推移は資料として持ってきていないので、はっきりとしたことは言えません。会議室、イベントホールも含めた利用件数の総数が載っています。周年事業の3年に中西東に1度回ってくるイベントがある年は利用件数が伸びますし、米子市公会堂のキャバが約1,100人、淀江文化センター588人であり、すぐに代理会場として使われたかははっきりとは分かりません。ただ利用件数としては多かったという報告になります。

田中会長

分かりました。ありがとうございます。他に何か質問、意見はないでしょうか。無いようでしたら次の3つ目の議事、各施設今後の自主事業の方向性についてご説明をお願いします。

議案3 今後の自主事業の方向性について資料内容の説明・報告

田中会長

ありがとうございます。質問、意見はありませんでしょうか。少し時間がありますので、今までの全ての議事を含めて皆さまに一言づつご意見なり、アイデアなり提案をお願いします。

小椋委員

各ホール、文化ホール、さなめホール、公会堂も鑑賞事業、参加型事業などを沢山していて前に進んでいると思います。すこし前に自治連の研修で広島福山市と安芸高田市に行きました。福山市は防災関連での勉強をし、次の日に安芸高田市に行きました。安芸高田市は6町合併によりできた市で、限界集落もありますので、地域づくりでなんとか残ろう

と取り組まれています。どのように地域づくりに取り組んだかといったら神楽です。中国地方の西のほう出雲を中心に神楽が盛んです。面積は米子市の何倍もありますが、人口は2、3万人の広域合併でできた市ですが、そこで神楽に取り組まれて、子ども神楽なども取り組まれています。補助金や設備面の関係で行政も一緒になって立派な神楽ドームというのが山の上にてできています。そこは神楽門前湯治村と言って、温泉もあり2千人ぐらい入る立派なドームがありました。土日に神楽が上演され全国から高校生等に案内して来てもらっています。米子市も公会堂をリニューアルしました、市の中心地でもありますし、大きな全国的にインパクトを与えるような大会とか、太鼓もありますし、毎年大きいイベントが開かれるようになればインパクトがあると感じました。

田中会長

ありがとうございます。ビックシッブは最大で3千人ぐらい入りますか。客席で2千人ですか。

小椋委員

子ども神楽とか高校生とか、全国甲子園大会のような感じで神楽を中心に大人も子どもも、高校生も合宿したりとか、色々なことを取り入れ地域づくりをしていました、そういった全国的なことが行えると栄えるのかなという気がしました。

菱谷委員

文化ホールの多目的広場の利用率が非常にアップしています。全体的にはほぼ横ばいで推移していますが、多目的広場の利用率は2倍以上ある。喜ばしいことです。公会堂の前庭も利用率が上がると、にぎわいを喚起します。公会堂はこれから大ホールに全国大会、中国大会等を誘致するのはもちろん大事なことです、文化ホールのように前庭をにぎやかにする方向で努力したらいいなと感じました。

田中会長

わたしも同じような意見です。公会堂を見ますとホワイエ、前庭がいいですね。

菱谷委員

ホワイエがいいと思います。個人的なことになりますが、私もホワイエを使いたいと思い申し込みましたが先客が有り、使えませんでした、嬉しい悲鳴ですね。これくらいになるように公会堂の前庭も活用してもらおうと大変有り難いですね。

田中会長

これまで公会堂はホワイエは単独では機能していなかったですね。

菱谷委員

ホワイエは非常に安く、1時間が210円です。公民館は別ですが、普通の練習をするために別の会場を借りると結構かかります。公会堂は合唱の練習もできます、ピアノもあり、天井も高く、壁も硬いコンクリートのため音響もホワイエは非常によい。

岩崎委員

公会堂が新しくなり、非常に好評だというご意見をいただいております。いずれ使うことになったときには楽しみにしています。虹の広場は年4回ということですが、日程はもう前年度に決まっていますか。

藤山副館長

今のところは来年度の日程は決まっていません。実行委員会での開催ということも関係があり、今年から開始していますので体制が整ってない部分があります。できれば早いうちに日程を決めていき前年度から決まっていることがベストだと思います。今後はそのようにしていきたいと思います。

岩崎委員

実は12月12日がビッグシップでナイトクルージングがあり、日程が重なります。内容もほとんど同じようなものなので、お客さんもどちらか迷うのではないかと思います。その点がちょっと気になりました。

藤山副館長

先日コンベンションセンター担当の方と話す機会がありました。今後こういったことも出てくるので、調整していきながら日程を決めるように話をしました。

岩崎委員

よろしくをお願いします

寺岡会員

文化ホールはよく出入していますが、職員の皆さんは大変がんばって仕事をしている、疲労がたまらないか、いらぬ心配をしています。もう少し職員の数が増えるといいなと思っています。鳥取市方面の施設の皆さんと話をすることがあり比較すると、米子の場合非常に内容があり、それこそ鳥取東部では多分できていないし、米子ほど充実していいなと思います。今後ともよろしくお願ひしたいと思います。ただこの前、米子のユースオーケストラと同じような高松のオーケストラを見てきました。米子市は県庁から遠いため鳥取県との繋がりが非常に薄くなっている、高松の場合は県と市と非常に近い位置にあり、連携

が非常に上手に行っています。人的な問題も含めて、もう少し鳥取県に協力してもらえないかなと感じて帰りました。鳥取県の文化政策課の課長も来ていたので、連携や組織について話をしました。もっとよくなるのではないかと思います。

坪倉委員

地元の音楽家の演奏会を聞きたいという地元の方はかなり多いと思います。東京等から来た音楽家の演奏会もたまにであれば喜ばれますが、米子市音楽祭のように地元の音楽家が集った演奏会を開くという機会が増えると、米子の方は非常に喜ばれる傾向にあると思います。そういう機会を持たれるのはすごくいいことだと思いますので、今後も続けていただきたいと思います。さなめホールは3館の中で唯一、ベーゼンドルファーを持っています。とてもいいピアノです。使う場所、ホールの場所、使う方の傾向というものもありますが、もう少し使用して周りの方に浸透していくと、もっと良い演奏会ができると思います。どこの館にもスタインウェイはあります。確かにスタインウェイは一台一台違う音が出ますが、ベーゼンも非常に良い音を出すので、もったいないといつも思っています。開放舞台以外で、また開放舞台は年1回ではなくて複数回開いてもらえれば、触ってみたいと思う方もいると思います、まったく音楽に関係が無い分野の方でも、さなめホールのピアノの音が非常に良いと言われる方もいますので、そういう方にも親しんでもらえる機会を持っていただく方法を考えていただけたらと思います。

藤原館長

ピアノ発表会が年に12、13回あり使用していますが、どちらかと言うとピアノ教室の先生方がプライベートで行う演奏会であり、広く知られてはいません。島根県の鹿島町にベーゼンドルファーがあり、鹿島町ではベーゼンドルファーを弾く会といったイベントをしていると聞いています。ベーゼンドルファー名前を打ち出したほうがいいのか企画員とも相談してみます。坪倉委員の話を参考にしてイベントをやってみてもいいのかなと思いますし、開放舞台という名称も来年は名前を変えてもいいかなと思います。

春名委員

文化ホールができた時から主催事業を行っています。毎年1回から2回的主催事業をしています。ミュージシャンの方も本当に使いやすいホールと言われますし、私たち主催者側も出演者側も本当に気持ちよく使用しています。本当にお世話になってありがとうございます。まず公会堂の外のスペースについて色々な場所で感じるのが、どんな場所で実施している食とのコラボについてです。色々な場所で海の幸と山の幸のマルシェなどをしており、今島根県でもどんどんしています。あのような感じで食と音楽とのコラボを是非やっていただきたいと思います。植田正治美術館の前、島根県の八雲国際音楽祭でも開催され、とても良かったと友人たちが言っていました。そうした芸術と食とのコラボに非常に皆さん

が関心をもっています。いいスペースがあるので取り入れていただきたいなと思います。また好評だったのがさなめホールのアートスタートです。やはり小さい時から本物を見たり聞かせたりしたい人があり、とても良かったという意見を聞いています。

田中会長

今の件で公会堂の前庭の設備、水や電気はどうなっていますか。

藤山副館長

米子の水が飲めるような水飲み場が設置してあります、電気は今回の工事で外灯の下からコンセントが取れるようになり使いやすくなりました。それからベンチのほうも米子ロータリークラブから寄贈いただいて数も増え、芝生も生え揃ってきましたので条件は良くなっていると思います。親子連れの方など沢山のお客様が来られ、新たな芸術と食の組み合わせによってより楽しんでいただけるものと思いますので、自主事業でもやっていきたいと思っています。また前庭は一般の方で貸し出すこともできますので、どんどんPRをしていけたらなと考えております。

秋田委員

3館とも近隣の小中学校が文化活動を行うのに大変ご協力いただきまして感謝しております。忙しい状況の中、いろいろな要望を最大限聞きいれていただいていると思っております。その中で2点あったのは、まず1点は公会堂が文化ホールより稼働率が悪く件数、人員が少ないというのは驚きで、理由について考えてみました。一つには今年算数、数学の全国大会で全国の小学校から中学校、高校の教員が米子に集まったときにコンベンションでは収容しきれなくて、文化ホールも利用しました、全国大会等でのコンベンションとのタイアップが一つの理由と考えました。もう一つはやはり利便性と言ったときに、文化ホールの駐車場が近くに無料で使えるのに対して、公会堂はそれが無いということです。本校の文化祭は今年公会堂を使用しました。昨年度までは文化ホールを使用しており、昨年の状況を知っている保護者からはアンケートにやはり車を停めるところがないとの意見がありました。例えば利用した場合に1時間でも近隣駐車場が無料になるような手立てが無いものかと思いますが、やはり色々なところで稼働を上げるためにはそういうところの配慮も今後いるのではと思いました。

2点目は4から5ページに載っているfeelおでかけ事業についてです。さなめホールも文化ホールも実施され、実は本校もこの事業で韓国のカヤグムの演奏を聞かせてもらい、大変子どもたちにも好評で、知らない楽器や外国の方が来られてその国の伝統文化を教えていただけるというのは非常にいい機会だったと思います。演奏者等とボランティアの度合いというものがあると思いますが、演奏時間は一時間で、準備等も合わせても2時間から3時間で、近隣の学校に来ていただく機会をもっと増やしていただけると有り難いかなと

思います。なかなか前もって学校でやっていただくことは厳しいかもしれませんが、ぜひ文化ホールに来られた方で可能な限りの範囲で学校に訪問していただいで聞かせていただくと大変喜びます。

田中会長

公会堂の駐車問題というのはもともとあった課題で、対応策はいくつかあったように思いますが。

岡課長

駐車場の問題ですが、当初から公会堂の駐車場の収容台数は少なく、一般的には35台程度停められます。集会室等を使う場合はそれでも足りるかもしれませんが、大きなイベントとなると確かに足りません。そこで米子市としてどういう対応をするかということを検討しました。ある程度公会堂の周囲には台数を収容できる能力が民間の駐車場にあると思いますが、ただ料金がかかります。料金に関しましてはえるも一るの駐車場または、高島屋の駐車場に停めていただき、買い物をすると無料になったりするケースもあります。できれば周囲にある駐車場を利用していただき、また周囲で買い物等をしていただき、一体的に地域の賑わいにも繋がっていけばいいのではないかと考えております。ただそうは言っても有料ですので、どうしても無料駐車場を希望される場合がありますので、市役所の駐車場の業務以外のときの無料開放ということで対応しています。平日業務中は市役所の駐車場は混み合いますので、そうでない時間帯、夜の時間帯や、市役所が閉庁中に市役所の駐車場に停められますと、700m程度、少々距離は離れていますが公会堂に行ってください、イベントに参加されたり、見ていただいたり、そういった人には市役所の駐車場の無料処理をしております。市役所駐車場から公会堂まで歩いていただき、買い物に立ち寄っていただければ中心市街地の活性化にも寄与するのではないかという考え方です。

中島委員

駐車場の問題もありますが、淀江のさなめホールに行くための交通手段が無いという話もあります。一応淀江はどんぐりバス、米子ですとだんだんバスがありますが、ルート変更といった具体的な提案ができないものかというのを聞きたいと思います。

松本主任

どんぐりバスのルート等は地域政策課が所管しており、今年度、利用促進等の照会があり文化課として、さなめホール前にバス停を動かす提案をしました、ルートや料金の関係から、結果としてルート変更ということにはなりませんでした。機会があれば提案をしようと考えております。

岡課長

どんぐりバスは生活路線の意味合いもあり、われわれとしては例えばイベントがある時にホールの前に止まって欲しいという希望はありますが、運行経費や運行時間を考えながらルートを作っていくと、希望の通りにはなりにくいのが現実です。

藤原館長

どんぐりバスは日曜日運休です。土曜日まではあり、淀江駅を經由して近くのバス停に停まるバスがありますが、日曜日運休というのは利用し難いと感じられると思います。また在来の路線バスが2路線、せまい旧道側と新道側を通るバスが1日に5本から7本ぐらいはあります。ただそれがイベントにぴったりの時間帯ではありません。淀江駅にはタクシーが一台あるので、その一台で来られ、タクシーで帰られるお客様があります。タクシーを呼んで欲しいというお客様がいればタクシーの手配はしています。

中島委員

公会堂の前広場で火は使えますか。

藤山副館長

現状復旧を条件に使えます。なにか敷いていただくなり、芝生等が焦げないようにしていただく必要があります。

田中会長

それでは引き続きまして最後、その他の説明をお願いします。

補足資料 平成25年度モニタリング第三者評価内容の説明・報告

春名委員

バスの件は毎年毎年出る意見ですが、一向に進まない感じがし、改善策がでてくるのか疑問に思います。

岡課長

現在文化課と地域政策課で話をしている中では、先ほど申し上げましたとおり生活路線というのを最優先にしてダイヤを組んでいるので、現状ではなかなか思うようには変更ができないと思います。状況が変われば違う展開もあるかもしれませんが、そうでなければ、改善が難しいのではないかと思います。

春名委員

署名とか市民が動かないとだめです、動かないと変わらないものですか。

岡課長

バス路線も普通の路線バスと、だんだんバス、どんぐりバスがあり、ある程度今まで通り確保するという観点から予算を組んで運営している面もありますので、今の状況からするとルートを変えると費用面が変わって来たり、うまく時間が組めなかつたりしますので、難しいと捉えております。引き続き、可能性があればということで提案をしていきたいと思っております。例えばルート変更の予算化、予算が増加し余分に1本増便できる等、状況が変われば可能性もあると思っておりますが、現状から考えると、そういったいい方向にはなかなか向かわないという感触です。

春名委員

普通のバスも利用者も少ないですね。

田中会長

他にご意見、ご質問があれば。特に無いようですので、これですべて議事を終了いたしました。ご協力ありがとうございました。

閉会